

患者さんへ

疫学研究「東京オリンピック/パラリンピック期間中に心肺停止となった患者の予後の検討- JAAM 院外心停止 (OHCA) レジストリの 2 次解析-」についての説明文書

1. この疫学研究の目的

2021 年に東京オリンピック/パラリンピックが開催されました。一般的に世界的イベントでは観客の増加などにより通常救急活動に影響がでるため、救急搬送となる患者の予後が悪化すると考えられています。しかし東京オリンピックはコロナ禍で無観客の開催となったため、通常救急活動への影響は限定的と考えられています。しかし、このような場合の救急活動への影響は検討されていないため、本研究で検証しようと思います。

2. 疫学研究実施機関

倫理委員会審査通過後から 2025 年 12 月 31 日 (予定)

3. 疫学研究に参加していただく対象患者さんの疫学研究期間

2020 年 1 月 1 日から 2021 年 12 月 31 日の間に病院 (研究組織) に搬送・入院となった心肺停止患者のうち、JAAM-OHCA レジストリに登録された患者

4. 疫学研究の方法について

JAAM-OHCA レジストリのデータセットを用いて解析します。

JAAM-OHCA レジストリには、診療情報：診断名、年齢、性別、身体所見、病院前情報 (心電図波形、胸骨圧迫、目撃の有無など)、来院時情報、治療時情報、搬送等時間情報、集中治療室入室後経過、転帰などが含まれます。

東京オリンピック/パラリンピック期間中に搬送となった患者と前年同時期に搬送となった患者、また期間前後の心肺停止患者の予後を比較検討します。

5. 疫学研究への参加の自由と参加のとりやめについて

この疫学研究に参加するかしないかはあなたの自由意思によります。参加をお断りになられても、不利益を受けることはありません。たとえそれが疫学研究中であっても、あなたはいつでも参加をやめることができます。その場合は担当医師に申し出てください。また、代諾者の方もあなたと同様に同意を撤回したり、中止の申し入れをしたりすることができます。

6. あなたの人權・プライバシーの保護について

この研究では、個人を特定できるような氏名・診療カード番号・住所などの個人情報登録されておりません。また、人間関係や会話内容なども一切使用しません。

ご心配な点がございましたら、下記当院担当科までお問い合わせください。

7.この研究に関連する危険性、健康被害について

この疫学研究は、匿名化された過去の先行研究のデータを用いるものですので、患者さんへの危険性や健康被害が起こる可能性は、一切ありません。

8.費用の負担について

この疫学研究に参加することによる患者さんの費用負担は、一切ありません。

9.この疫学研究を担当する医師の氏名、連絡先

この研究は当院の倫理委員会の承認を得て実施します。

また、主研究（JAAM-OHCA レジストリ）は京都大学医学部、倫理委員会の承認を得て実施しています。

この疫学研究について分からないことやさらに詳しい説明が欲しい場合、気がかりなことがある場合は、いつでもご連絡ください。

疫学研究責任医師;

兵庫県災害医療センター

救急部

氏名; 西村 健 連絡先;078-241-3131